



# 景観の保全と形成を目指して

早稲田大学大学院公共経営研究科

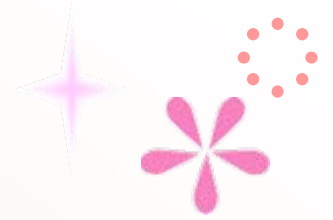
Eグループ

平成19年8月4日(土)



# 発表の流れ

- 1 Eチームの提案目標と三次市の現行政策
- 2 現状把握
- 3 課題整理
- 4 提言



# 1 Eチームの提案目標と 三次市の現行政策



# 景観に対する認識

## ● 景観とは何か？

- ・人が環境に働きかけることで出来た風景  
例) 山間・田園景観、都市・伝統的街並み景観

## ● 景観に対する思い

- ・日常的な景観の美しさを再認識する
- ・身近な風景に愛着を持つ
- ・日々の積み重ねとしての景観に誇りを持つ



# 市長のマニフェスト

## ●【誇り高き市民宣言】

- ・50年後・100年後の『三次市』の創造

## ●【景観の保全と形成】

- ・景観条例の制定、田園・里山景観の保全・創造
- ※景観条例は平成19年3月制定



# 市の景観政策の概要

## 総合計画(みよし百年物語「第6 都市」)

### 【目標】

地域活動が活発で、にぎわいと活力に満ちたまちづくり

### 【主な施策(都市の魅力づくり)】

- ①都市のにぎわい・魅力づくり
- ②川の都づくり
- ③美しい景観の創出と保全
- ④安全で快適な生活環境づくり
- ⑤魅力ある地域づくり



# 市の景観政策の概要

## 三次市の景観形成の目標

「みんなが憩う水と緑の景観都市みよし」

景観計画

屋外広告物条例

(※現在検討中)

景観条例



# 市民の意識

## 市民アンケートの結果から

- 三次のどんなことで日本一・世界一を目指せばよいでしょうか？

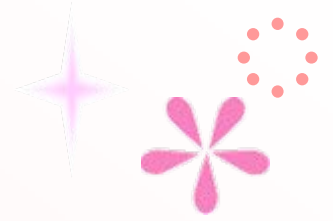
第1位・・・自然の豊かさ、自然との共存共栄

- 50年後・100年後、どんな三次になればいいですか？

第1位・・・自然あふれる、自然を守っていける町

第5位・・・伝統・文化の残る町





## 2 現状把握



# 調査・ヒアリング

調査・ヒアリング先		主な調査内容
①住民活動に関する調査	自治会(海渡町内会、在原町内会)	国道沿いの花の整備
	ほしはら山の学校	現在の取り組み内容、取り組みに至る経緯、地域の状況
②行政の現況政策に関する調査	三次市あんしん建設室	道路整備・保全の現状と計画、河川環境整備の現状と計画
	三次市みらい都市室	景観計画・景観条例の概要 屋外広告物条例の検討状況
	三次市文化財保護委員会	三次市の歴史(特に交通関係)
③現地調査		市内の屋外広告物、道路、河川、中心市街地の状況等を視察



# 印象に残った景観①

## ● 三川合流地点



## ● 旭提





# 印象に残った景観②

## ● 歴史的街なみ



## ● 十日市(親水公園)





# 印象に残った景観③

● 君田町  
(赤い瓦屋根【石州】)



● 君田町(ひまわり)







# 印象に残った景観④

## ● 上田地区(田園風景)



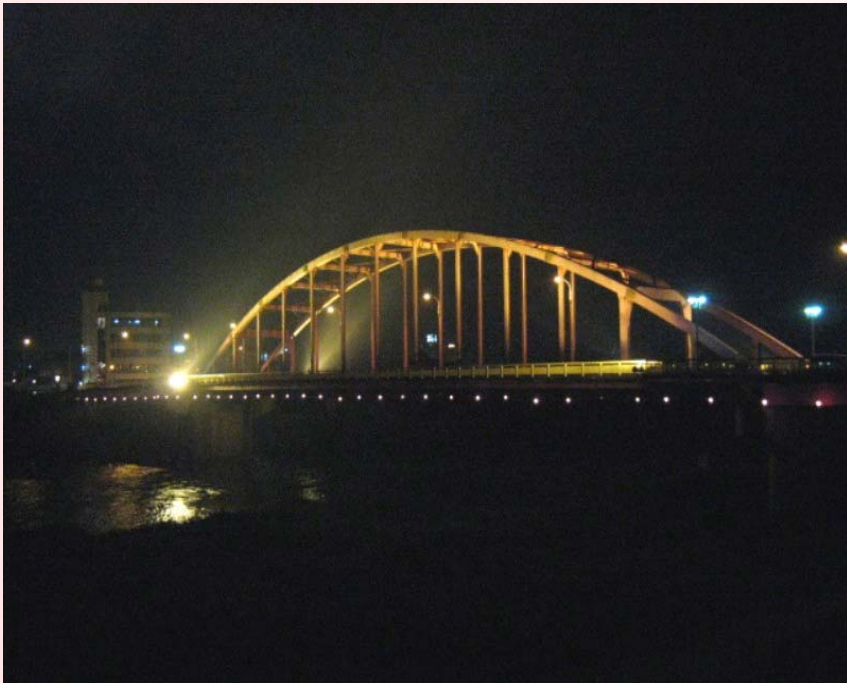
## ● 栗屋町(棚田)





# 印象に残った景観⑤

## ● 夜の巴橋



## ● 夜の歴史的街なみ





# ヒアリングの状況①

## ●三次市文化財保護委員会 藤村委員長

- ・三次市は古来、瀬戸内海側の広島や福山、尾道と、日本海側の町々を結ぶ交通の要衝だった。川の交通路と陸路が交差している。現在も、中国縦貫自動車道などを使って東西を行き来するトラック運送のターミナルになっている。

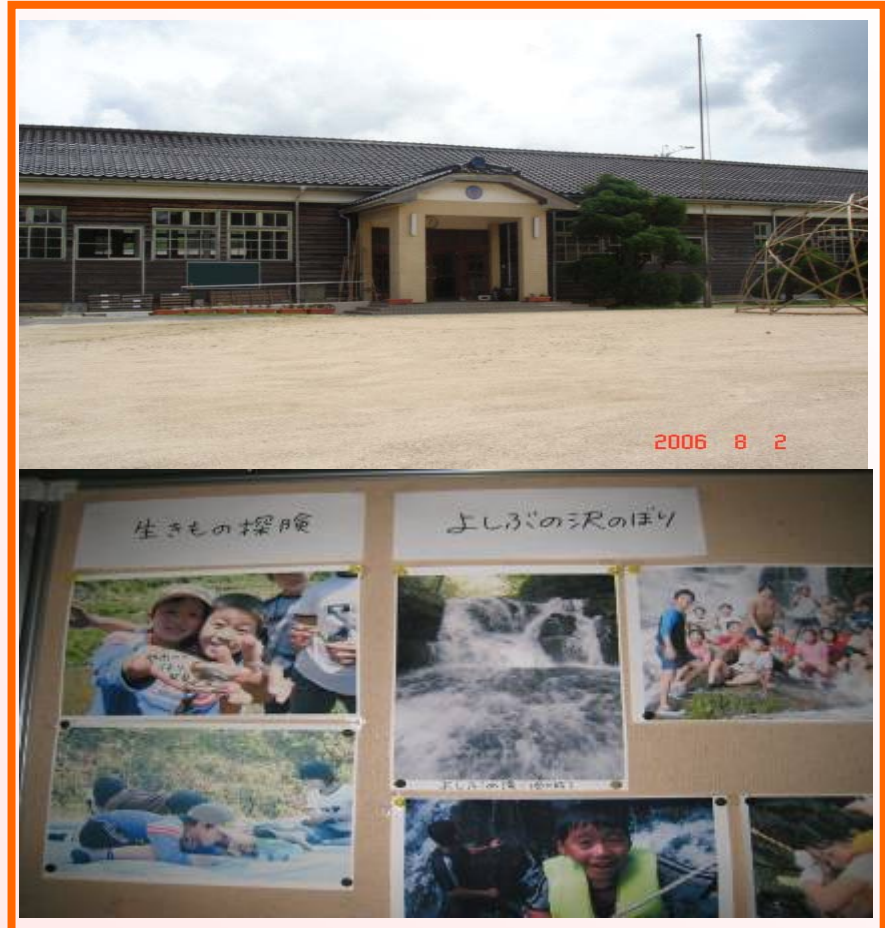






## ヒアリングの状況②

- 「ほしはら山のがっこう」  
金末(かねすえ)さん
- ・小学校は地域コミュニティの中心であるとの認識は共通。
- ・上田地域の住民は現在95世帯だが、高齢化率は54%に達する。廃校を地域活性化の拠点にし、①地域コミュニティの活性化②棚田などの農作業支援③子供を対象にした自然体験学習④空き家や田畑を管理し、農業就業希望者に貸し付ける——などを旨とする。
- ・地域の課題としては、地域や農業に誇りをもてないような住民がいること。

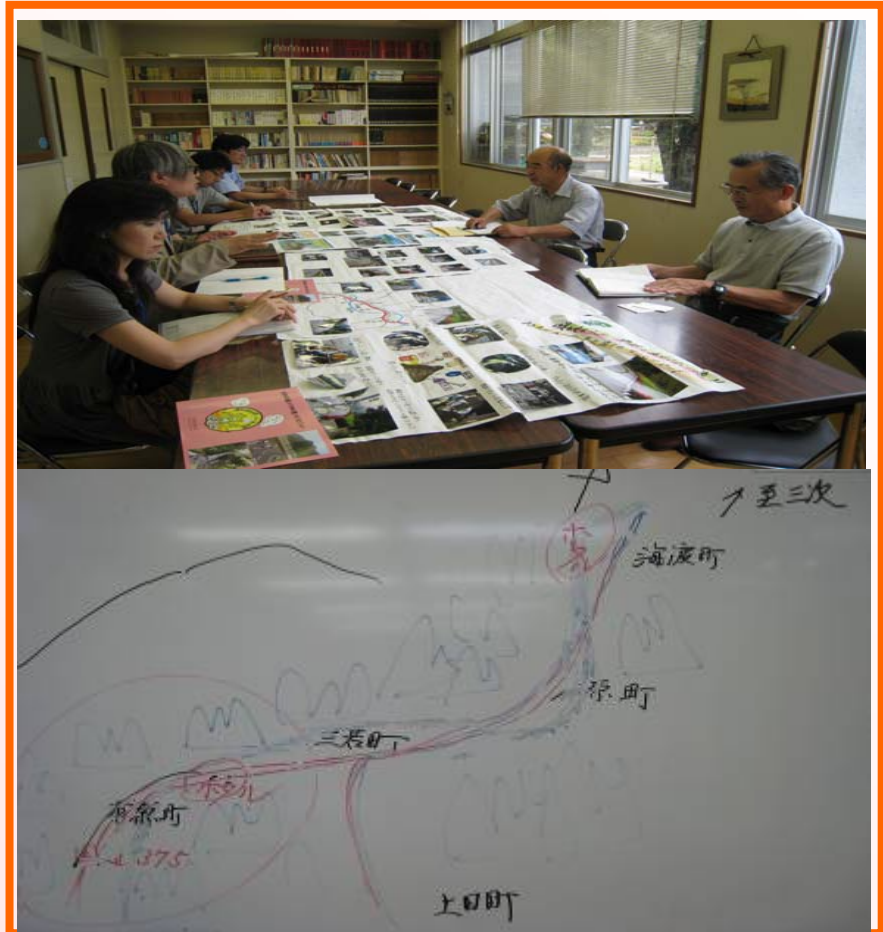


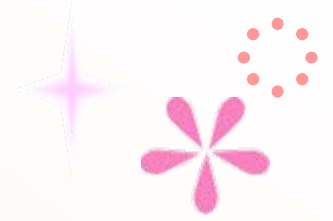
# ヒアリングの状況③



## ● 三次市川西自治会連合会 反田(たんだ)さんと松田さん

- ・サルビアの花を住民が育て、高校駅伝や三次駅伝の時期(10~11月)にあわせて、近くの国道375号線の歩道に設置している。延長約7キロ、プランター数は1200~1300に及ぶ。住民が種まき、育成、プランター設置、水遣りまで行う。
- ・花を沿道に並べることで、心のやすらぎとしたい。自動車速度のスピードダウン、ごみの不法投棄なども目指したい。
- ・「農村景観づくり」を掲げて活動している。景観作りは、地域住民のコミュニティー作りでもある。





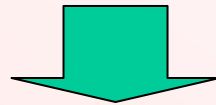
### 3 課題整理



# 課題整理①

## 【全般的な課題】

住民や行政が、景観に関してさまざまな取り組みを行っており、各所で景観が向上してきている。  
しかし、それぞれの取り組みのつながりが薄い。



個別の活動の大切さを、みんなで確認しあい、それを三次市全体として、みんなで育んでいくことが重要ではないか。



# 課題整理②

## 【個別の課題】

### ①都市景観

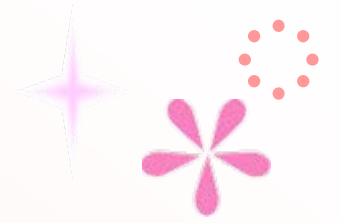
- ・三次市の中心市街地の景観的まとまりがやや弱く、美しい河川景観や魅力ある伝統的街並みが生かし切れていない。

### ②農村・山林の課題

- ・少子高齢化が進み、現在の美しい田園・山地景観が徐々に衰退しつつある。

### ③屋外広告物

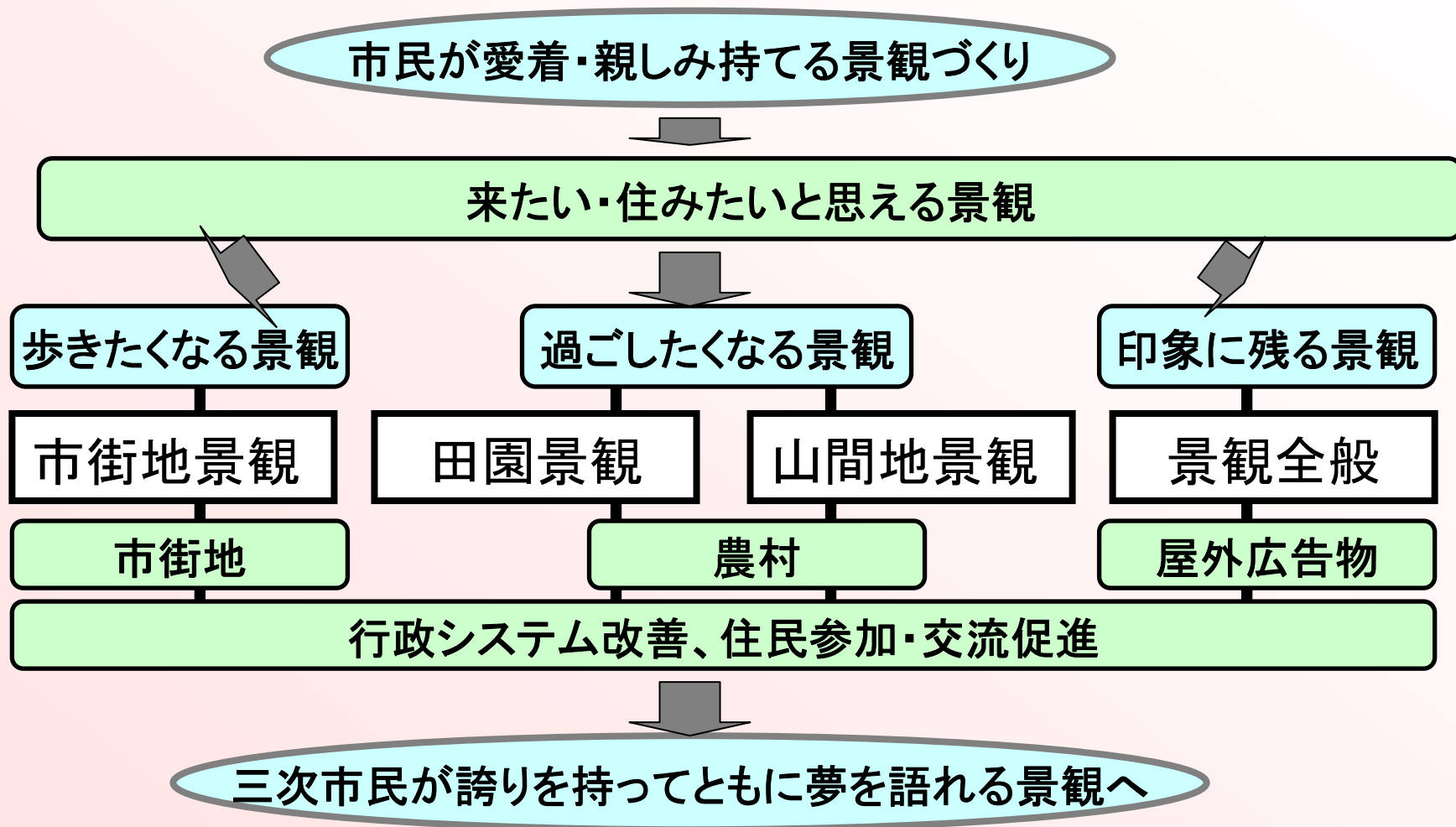
- ・郊外への店舗の進出などにより、屋外広告物が乱立しはじめ、せっかくの景観的魅力が隠されつつある。



# 4 提言



# 景観対策の流れ





# 個別提言①市街地

## ● 提案1

三次駅前から巴橋、伝統的街並みの連携を図り、中心市街地の魅力を高める。

## ■ 提案の方向

JR「三次駅」から「歴史民俗資料館」付近まで、「歩きたくなる道」を整備する。





# 個別提言①市街地

## 「歩きたくなる道」の具体的整備

- 途中に北溝川沿いの遊歩道があり、親水公園が整備されている。
- 裏道にはいると途中で休めるベンチやちょっとした楽しめる店がある。
- 小さな鉢植えなどが多く、花が常に気持ちをしなやかに和らげる。
- 巴橋では、美しい開放的な河川景観が眺められる。
- 三次地区では伝統的な街並みが楽しめる。



# 個別提言①市街地

## 「歩きたくなる道」のイメージ

- 魅力ある親水遊歩道

- ちょっとした休憩が出来るベンチ





# 個別提言①市街地

## 「歩きたくなる道」のイメージ(他地域の例)

- 沿道住居やお店の美しい花や潤いなる植木



- 開放的で魅力ある河川景観と巴橋



# 個別提言①市街地

## 「歩きたくなる道」のイメージ（他地域の例）

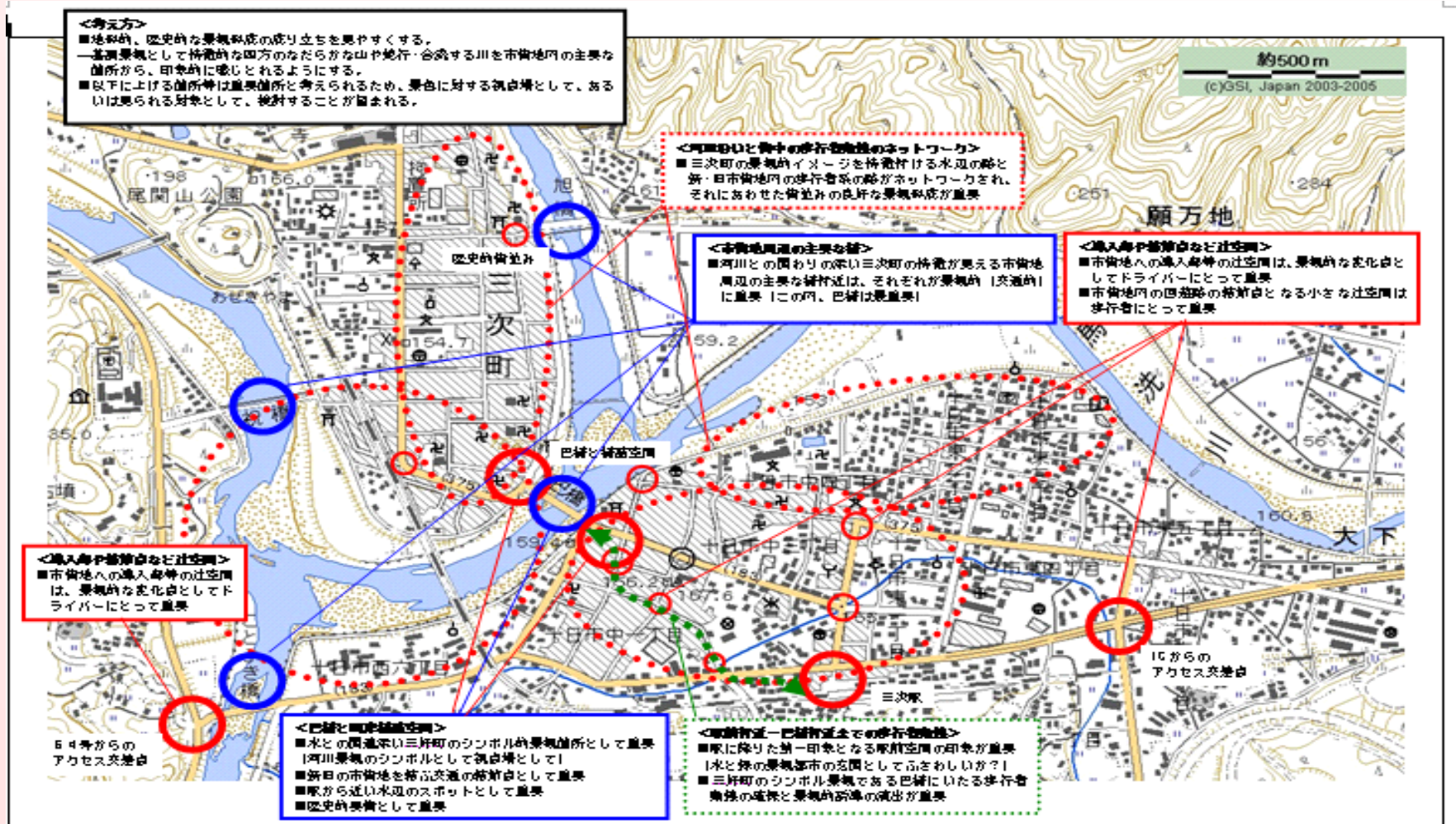
- 歴史的な街並みとちょっとしゃれたお店





# 個別提言①市街地

## 三次市中心街の魅力づくりイメージ図



# 個別提言②農村



## ● 提案2

棚田や田園景観の美しさ、農業や農村の暮らしに興味を持っている人びとを体験農業につなげ、やがてはITターンに結びつける。

## ■ 提案の方向

「ほしはら山の学校」のように、農村や山間集落での「体験学習」を企画している人びとが、「体験農業」活動を行うためのノウハウを支援する。



# 個別提言②農村

## ■ 体験農業学校のイメージ

体験農業学校のポイントである受け入れ体制に関して、ほしはら山の学校を例に「体験農業学校」をイメージしてみた。

## ■ 受け入れ体制として必要なこと

- ①受け入れ「組織」「施設」が存在すること。
- ②農業体験をしてもらいたい人の段階、ニーズに合わせてメニューを提供出来ること。

## ■ 具体的メニュー

- ①ちょっと体験してみたい(体験型)
- ②農業を本格的に覚えるため、じっくり実習してみたい(実習型)
- ③定住に踏み切るための準備をしたい(定住促進型)



# 個別提言②農村

## 和歌山県那智勝浦町口色川地区の事例

### 【実績】

農業体験を受け入れ、多数のIターンにつなげている事例。農業、林業等ですでに30年近い受け入れ実績があり、棚田のオーナー制度も実施している。

### 【施設概観】







# 個別提言②農村

## メニューの内容

タイプ	目的	内容
ステップ1 体験型	短期間の田舎暮らしを満喫(グリーンツーリズムコース)	<ul style="list-style-type: none"><li>・日程: 2泊3日</li><li>・費用: 15000円程度。</li><li>・稲作、畑仕事、その他山菜採り等を体験させる。</li></ul>
ステップ2 実習型	農林業の基礎を身につける	<ul style="list-style-type: none"><li>・日程: 準備3日間の後、1週間～1年間</li><li>・費用: 宿泊費と自炊費(費用実習は無料)</li><li>・実際の実習に入る前に、思い通りの実習が出来そうかどうか、まず3日間の仮体験を受ける。</li></ul>
ステップ3 定住型	地域に定住希望者へのコース	<ul style="list-style-type: none"><li>・日程: 5日間コース</li><li>・生活を実感し、定住の可能性を探る・地域の人と親密度を増す。</li></ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"><li>・日程: 1ヶ月単位 ・費用: 月15,000円(定住をあきらめた場合でも、リスクが少ない)</li><li>・定住を決意した方は、「ふるさと定住促進住宅」で定住に向かって実地生活を行う。</li></ul>



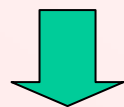
# 個別提言③屋外広告物

## 提案3

広告主や地主、観光施設、行政が一体となって実践した屋外広告物の改善事例を調べ、その中から、三次に活用できる方策を提案する。

### ■提案の方向

・三次市では、すでに景観計画の中で屋外広告物の改善・規制を定めているし、今後、屋外広告物条例を今後策定予定である。



・景観計画や屋外広告物条例を用いて、実際にどのように屋外広告物を規制、あるいは美しくしていくかの実際のノウハウを提言する。



# 個別提言③屋外広告物

## 改善対象及び改善提案

	改善提案
改善対象とする区間	<p>①中国横断自動車道の新たに整備されるIC付近から整備される市道</p> <p>②中国自動車道、三次ICから市内や歴史的街並みに向かう道路</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主要国道の中で、商業地域以外の箇所</li><li>・特に主要交差点が重要(ICからの降り口・町の入口・その他)</li></ul> <p>③その他の景観が重要な区間</p>
改善対象とする屋外広告物の種類	<p>○大規模な「誘導案内広告」。 (店舗広告等は、色彩や規模の縮小を誘導する。)</p> <p>○簡易屋外広告物除却(旗や、貼り紙等)</p>
参考となる事例	<p>○「福島県磐梯高原広域サイン計画事例」</p> <p>○「木曾広域サイン計画」</p>



# 個別提言③屋外広告物

## 屋外広告物改善手順

	内容	主な担当部署
①行政内部での事前準備	・屋外広告物の改善の方向の策定	都市整備グループ
②合意形成	(関係者委員会等の検討機関の設置・規制措置の設定)	関係者委員会 (学識経験者・都市整備グループ、屋外広告物関係者、観光・商工等の担当部署)
③案内誘導機能の代替サインの検討	・現在の屋外広告物を撤去した場合の、案内機能を代替するサイン計画を検討	同上
④屋外広告物の自主撤去の準備	・対象となる屋外広告物関係者に対する撤去説明	都市整備グループ 対象となる屋外広告物関係者
⑤自主撤去の実施	・一定期間に、まとめて自主撤去することで、費用を安く抑える検討。	対象となる屋外広告物の関係者



# 個別提言③屋外広告物

三次市内で景観に配慮している屋外広告物

## ● 三次中央病院入り口周辺



## ● 灰塚ダム周辺





# 個別提言③屋外広告物

## ● 三次市内の屋外広告物の状況①【修正前】







# 個別提言③屋外広告物

- 景観に配慮させた場合①【修正後】





# 個別提言③屋外広告物

## ● 三次市内の屋外広告物の状況②【修正前】







# 個別提言③屋外広告物

- 景観に配慮させた場合②【修正後】





# 全体提言①

## □景観政策実施のための行政内での調整

- ・景観政策は、様々な事業と様々な行政部門にまたがって実施されるため、チェックリスト等を作り、部門横断的連携を強化することが望まれる。  
\* 現在書類配布はすでに実施している。

### チェックリストの例

	みらい都市室	〇〇室	〇〇室	〇〇室	〇〇室
歩道事業					
親水事業					
屋外広告物					
建築申請					
〇〇事業					



# 夢ある 三次市の景観

市民参加型

(コミュニティーの構成と連携)

市民  
(市民団体)  
\* 三次各地域の  
振興団体

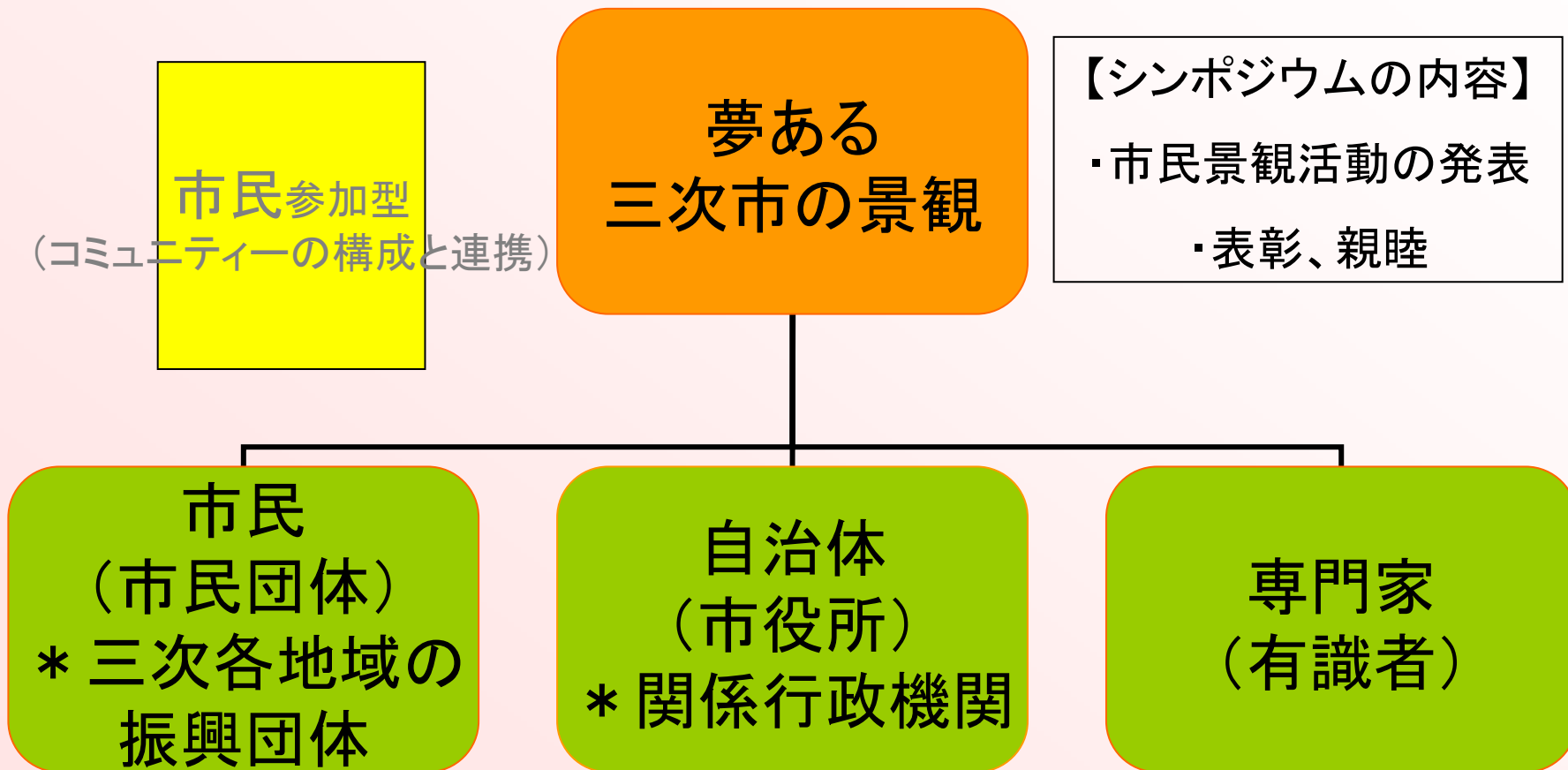
自治体  
(市役所)  
\* 関係行政機関

専門家  
(有識者)



# 全体提言②

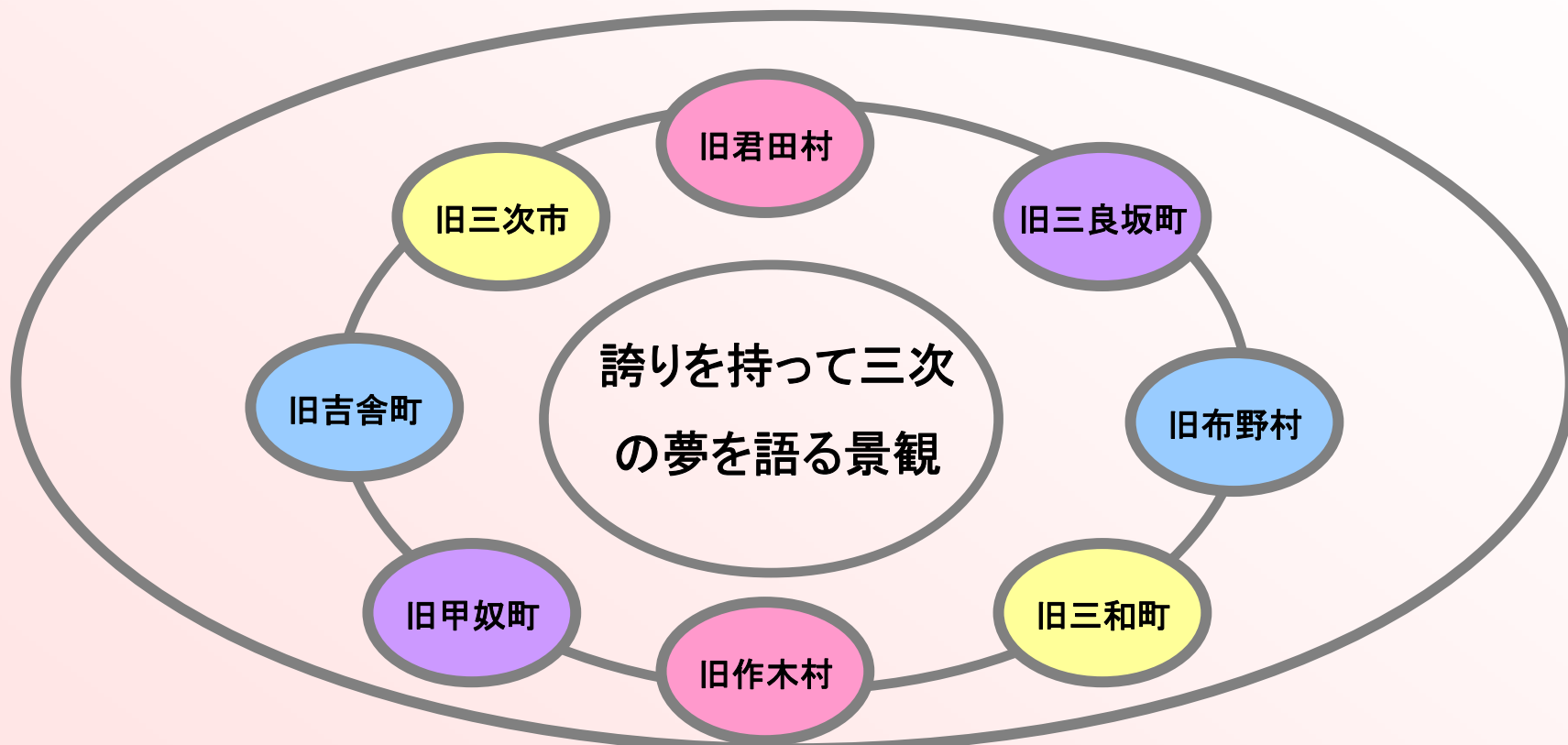
## 市民による景観シンポジウム





# 市民が主体の景観活動の効果

## 三次市



景観は、旧市町村間・旧市町村内の交流を高め、市民の一体感を醸成の「きっかけ」